

# 道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校  
校長室だより

## 「所為」(せい) と「御陰」(おかげ)

5 月 1 日に新しい時代「令和」が始まりました。「平成」の時代は戦争の惨禍はなかったものの、自然災害の活性期でした。「令和」は平和な世の中が続き、自然災害の少ない時代になればと思います。また、皆さんの若い力が発揮される時代です。将来に向け、しっかり勉学に励んでください。

4 月の中旬ごろまで肌寒い日が続きましたが、ゴールデンウィーク中は、気温が高く 25 度以上の夏を記録した場所もありました。今の季節、新緑が目にしみます。自然のエネルギーを感じることができ、風にそよぐ若葉を見ると心が洗われます。これから暑くなってくるので、熱中症予防の水分補給など自分の健康管理をしっかり行って欲しいと思います。

さて、5 月 20 日(月)から 5 日間(1・2 年生は 4 日間)、今年度最初の定期テストである 1 学期中間考査が行われます。考査に向け、目標と計画をしっかり立て学習していることと思います。テスト勉強する上で、「**弱い自分に打ち勝つ**」ことが大切です。『**後悔先に立たず**』という言葉があるように、「**あきらめずにやりぬく気持ち**」を今こそ発揮してください。皆さんの奮起を期待しています。特に 1 年生は中学校に入学して初めての定期テストです。日頃授業で習ったことを中心に、時間を有効に使って、集中力を高めて能率のよい学習を心掛けてください。

さて、昨日の全校集会での話です。「所為」という漢字は「せい」と読みます。「～のせいにする」の「せい」です。人は、自分に原因があり素直に謝ればすむことでも、悪かったことを棚に上げて、つい「人の所為」にしてしまう事も多いのではないのでしょうか。例えば、「遅刻したのは起こしてくれなかった親の所為だ」「試合に負けたのはあなたの所為だ」など、似たような経験はありませんか。「人の所為」にするのは、怒られたくない、自分に自信がないなど、自分の甘えがそうさせているかも知れません。しかし、「人の所為」にばかりしていると、本人が成長しないし、わがままで信用できない人と思われてしまいます。自分の過ちは素直に認め「**自分に厳しく他人にやさしい人**」になって欲しいと思います。

\*辞書より抜粋、<所為の字音「しよい」の変化した語か>それが原因・理由であることを表す。

一方、自分が周りから受ける影響を表す言葉として「御陰(おかげ)」という言い回しがあります。感謝を表す言葉で「～のおかげさまで」として使われます。「おかげさまで～です」と通常の挨拶としても用いられます。長年プロ野球で監督を務められた野村克也さんの著書「野村ノート」の中で「おかげさまで」という詩を目にしました。野村監督は、この詩に出会い、今の選手に最も欠けているのは「**感謝の心**」だと気付いたそうです。一部を紹介します。

夏が来ると冬がいいといい      冬になると夏がいいという  
太ると痩せたいといい      痩せると太りたいという  
忙しいとひまになりたいといい      ひまになると忙しい方がいいという  
自分に都合のいい人は善い人だと誉め      自分に都合が悪くなると悪い人だとけなす  
借りた傘も雨があがれば邪魔になる  
上を見て不平不満に明け暮れ      隣を見ては愚痴ばかり  
どうして自分を見つめないのか      静かに考えてみるがいい  
いったい自分とは何なのか  
親のおかげ 先生のおかげ 世間のおかげの塊(かたまり)が自分ではないのか  
つまらぬわがママを捨てて      得手勝手を慎んだら世の中はきっと明るくなるだろう  
おれが おれが を捨てて      おかげさま おかげさま で暮らしたい